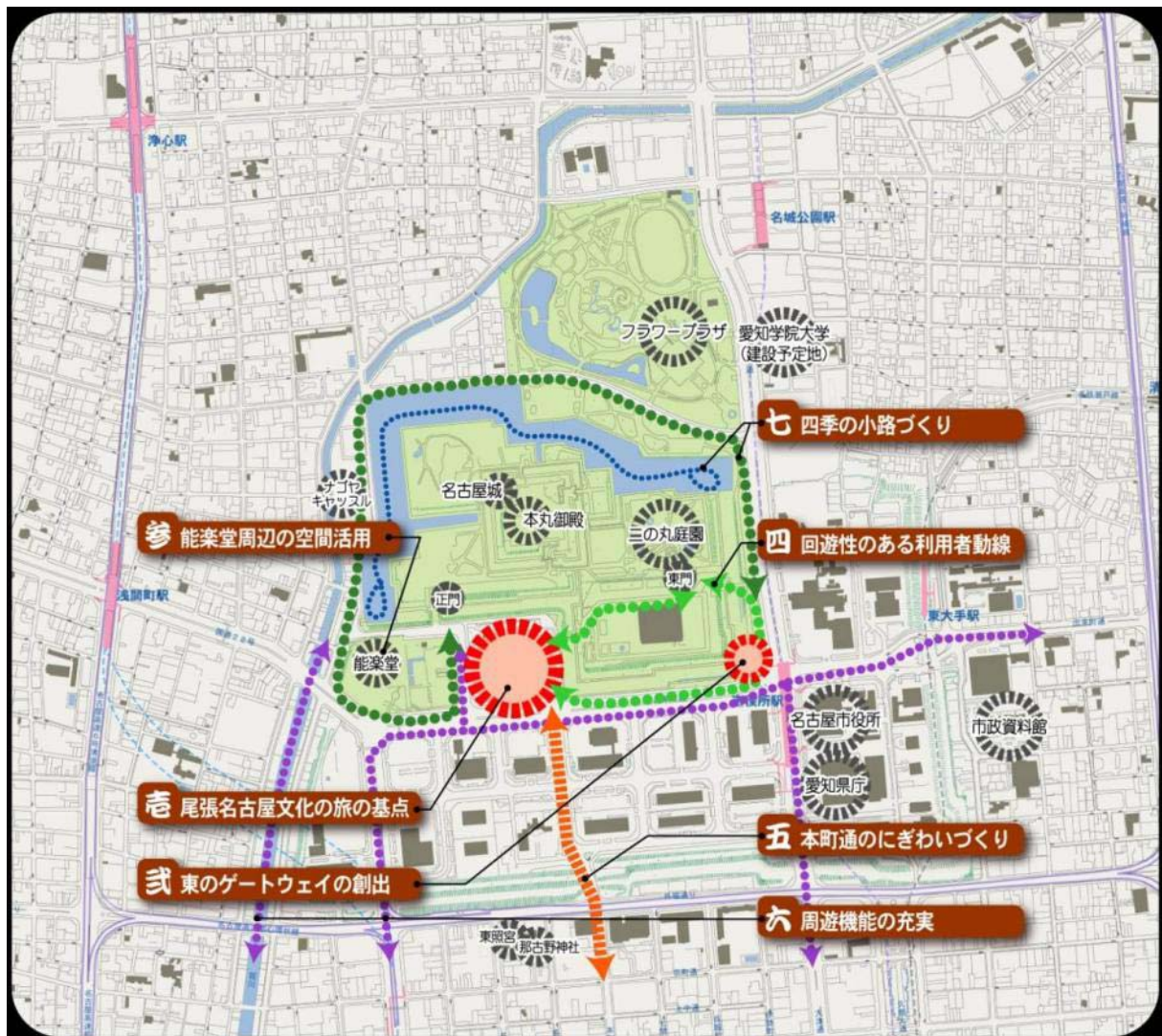


第二章 空間づくりのイメージ

1) 事業展開の全体像

世界の金シャチ横丁（仮称）では、開府以降 400 年間に培ってきた名古屋の文化（歴史、生活、産業技術）と、それを支えてきた人のつながりや時代のつながりをじっくり「見て」、「知って」、「体感・体験」できる空間づくりを目指します。

また名古屋の町の成り立ちや周辺とのつながりを学び、それをきっかけに周辺にも足を延ばしてもらえ“尾張名古屋文化の旅の基点”を創出していくことを目指します。



2) 個別の展開イメージ

壱

尾張名古屋文化の旅の基点

大屋根をもつ和風建築に入ると、目の前には舞台を備えた芝居小屋が広がります。そこは観光客が食事をしながら芝居が楽しめる、くつろぎの場となっています。奥へ進むと、金鯨や山車、鎧兜などを見て、触れて、名古屋の本物の歴史が感じられる空間が待っています。さらに奥へ進み、建物から外へ出ると、往時の城下を模した飲食、物販店が並ぶ賑やかな横丁へとつながります。

名古屋で育まれてきた「食文化」や「生活文化」を最大限に表現し、堪能できる“尾張名古屋文化の旅の基点”となることを目指します。



■芝居小屋で多目的空間を演出

名古屋の文化として脈々と受け継がれてきた芸能や催しを鑑賞したり、食事をとりながら憩い、くつろげる多目的空間づくりを進めます。



■本物の歴史に出会う空間

名古屋城の金鯨や収藏品、山車などを展示・活用することで、名古屋の本物の歴史を肌で感じてもらうことのできる展示空間づくりを進めます。

またここでは、尾張藩主として名古屋城に居を構えた徳川義直や宗春など藩主たちの生活ぶりを学ぶ空間づくりも展開します。



■名古屋の食文化・生活文化を堪能できる横丁

江戸時代から続く名古屋ならではの「食」を味わい、ものづくり産業の発祥ともなった伝統工芸にふれることのできる名古屋情緒溢れる空間づくりのほか、尾張名古屋圏の情報発信や交流も図られる展開も目指します。

また区域内の史跡を生かし、歴史的深みのある空間づくりを進めます。



[正門前駐車場の東側用地（現状）]



[二之丸大手二之門前の道路（現状）]

■尾張名古屋の旅の基点（施設展開イメージ）

